

(ID:)

造影検査に関する説明と同意書

ヨード系試薬を使用した検査を受けられる方へ

有効期日(3ヶ月)

年 月 日迄

1. 目的と方法 【CT検査・血管造影検査・排泄尿路造影・胆管造影など】

ヨードを含む試薬を注射しながら行う検査です。造影剤を用いることにより病気の診断や状態を明らかにすることに役立ちます。

2. 造影剤の副作用

造影剤は安全な薬剤ですが、下記のような副作用が生じることがあります。異常が出たときや何か変だと感じたら、ためらわずすぐにお申し出ください。

軽い副作用

発生頻度は100人につき3人程度、約3%の確率で起こります。

*吐き気、嘔吐、頭痛、めまい、発疹、蕁麻疹、かゆみ、動悸、咳など。多くは心配ありません。

重い副作用

発生頻度は10,000人につき5人以下、約0.05%未満の確率で起こります。

*ごく稀に息苦しさ、血圧低下、意識消失が起こることがあります。

*非常に稀ですが病状・体質によっては、10万人に1人(0.001%)の割合で死亡例も報告されています。

◆副作用は造影剤を使用した直後から症状が出る場合が大半ですが、検査中は看護師・技師が患者様の様子を観察しています。万一副作用が起きた場合は、必要に応じて最善の処置を行います。

◆こうした副作用は事前に予測することが困難です。アレルギー体質の方や持病によっては副作用が出やすいこともあるので、担当医の判断で注射をしない場合もあります。

ビグアナイド系糖尿病薬と造影剤の併用

*ビグアナイド系糖尿病薬を服用中にヨード系造影剤を使用すると、血中の乳酸値が上昇することがあるため注意が必要とされています。胃部症状や筋肉痛、過呼吸等が発生する恐れがあります(死亡例の報告あり)。

◆当院では造影検査の前後2日間について、内服を制限する対応となっております(検査日を含めて5日間)。病状によっては、医師の指示どおりにしてください。

＜ビグアナイド系糖尿病薬の一例＞

{ グリコラン錠、ネルビス錠、メデット錠、メトホルミン塩酸塩錠、メルピン錠、メトリオン錠、
メトグルコ錠、メタクト配合錠LD、メタクト配合錠HD、ジベトンS錠、ジベトンB錠、ジベトス錠 等 }

検査をできるだけ安全確実に行うために「問診票」のご記入をお願いし、確認させていただきます。

3. 検査後の注意

*造影剤注射後は水分をいつもより多く飲んでください。

注意 医師に水分制限をされている方は医師の指示どおりにしてください。

*稀に造影剤注射後、数日経過してから症状が出る場合があります。その際はご連絡ください。

以上の説明をご理解いただいた上で、同意書に署名をお願い致します。この同意書は検査に同意された日から3ヶ月間は有効とさせていただきますが、同意された後でも、いつでも撤回することができますし、次の造影検査までに、お気持ちが変わられた場合には、医師、看護師にお申し出ください。

【造影剤検査の説明】

私は患者様に上記事項について説明しました

年 月 日 医師氏名

【造影剤検査の同意書】

私は造影検査の説明を受け、目的や方法、危険性について記載事項を読み理解したので、造影検査を受けることに同意します。また万一副作用が現れた場合には必要な処置を受けることを承諾します

年 月 日 ご本人の署名

*未成年・本人記入が困難な場合

代理人の署名 (続柄)